

健康づくりと生涯学習を 一層推進していきます

美浜町長

山口 治太郎

Yamaguchi Jitarō



行政

明けましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、経済不況、景気の低迷、政局の混迷等、明るい兆しのないまま衆議院議員総選挙となりましたが、自由民主党と公明党を中心とする新政権のもと、明るい年になることを望みたいものです。

本町においても、原子力発電所の稼働停止により、雇用の悪化、町産業の停滞、経済の落込み、法人町民税をはじめとする税収の大幅減少等、厳しい財政状況ではありましたが、皆様のご理解のもとに、長年の夢でもあった生涯学習センターなびあすを完成させることができました。本施設は、町民の皆様のニーズにお応えできるよう新しい時代にあさわしい、明日に向かって学べる生涯学習の拠点として、公民館機能と図書館機能、文化ホールを兼ね備えた施設となっております。

また、老朽化と耐震上問題があった美浜南小学校の体育館も改築することができ、ソフト面においては、生涯学習と健康づくりの取り組みを着実に進め、その成果も表われてきたと確信しております。

さて、平成25年の主な事業、施策について申し上げます。本年も第四次美浜町総合振興計画「自然かがやき

人いきいきまちがにぎわう美し美浜」の実現に向け、「健康づくりと生涯学習を協働で」を基本理念とし、積極的な施策を推進してまいりたいと考えております。

健康づくりについては、「健やかで元気と活気のあるまち」の実現を目指し、健康寿命の延伸や生活習慣病の予防を町民自らが行うために、次期「健康づくり計画」を策定するとともに、減塩、減量等で生活習慣病の原因を減らす「げんげん運動」を推進してまいります。

また、生涯学習の取り組みでは、「なびあす」を拠点として、皆様とともに、より一層推進してまいりたいと考えております。

次に、みずうみ保育園の整備については、地権者のご理解をいただき用地取得が完了し、現在、施設の整備検討協議を進めているところであります。なお、今春には着工し、新年度中には、新しい園舎での保育が行えるよう進めてまいります。

道路網の整備では、舞鶴若狭自動車道及び美浜東バイパスが、平成26年度の完成に向けて順調に進捗しており、また、敦賀半島の原子力災害制圧道路と、国道27号河原市以西の歩道整備についても事業化され、今年から用地交渉に入ると聞いており、早期完成が待ち望まれるところであります。

降雨時や渇水期にご不便をおかけしてきました丹生、竹波地区簡易水道浄化施設整備につきましては、新年度に安全で安心した飲料水をご利用いただけるよう整備を進めてまいります。

農林水産業及び商工観光業の振興充実はもとより、鳥獣害対策の強化をはじめ、「サクラサク」の映画化の実現や体験観光の推進、交流人口の増加にも努めてまいります。あわせて、若者定住化対策として住宅団地及び企業誘致や産業団地の整備にも取り組んでまいりたいと考えております。

原子力行政につきましては、この7月には原子力規制委員会から新しい安全基準が示されることとなっております。今後においても、原子力発電所の安全・安心の確保を最優先に原子力発電所との共生を推進していく所存であります。

また、町民の皆様にご安心いただくための防災対策につきましては、津波対策として、津波ハザードマップの作成や海拔表示等に取り組みとともに、原子力防災につきましても、国が示した原子力災害対策指針等により、防災計画の見直しを進めてまいります。

今後、本町発展のためご指導・ご支援賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



自ら身を削り

「責任ある議会」の実現を目指します

美浜町議会議長
北村 晋

議会

Kitamura Susumu

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

皆様におかれましては、清々しく新春をお迎えのことと思います。旧年中は、町政に対する温かいご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年11月、三方五湖青年会議所主催のもと「子供議会」が開かれ、中学生の子ども議員がまちづくりについての提案を行いました。わが町の観光や安全、交流等それぞれの視点から地域社会の問題に目を向け、町の未来への夢を語る子どもたちの姿を頼もしく思うとともに、議会として町の未来への「責任」を強く認識した一日となりました。

さて、地方分権の進展とともに地方自治体の意思決定機関である議会の充実が強く求められております。昨年は予算決算審議の充実を図るための委員会設置や、一般質問における一問一答方式の導入、議会に対するアンケート調査の実施等の議会活性化策を実施してまいりました。

しかし、人口減少と厳しい財政運営が続く美浜町では、現在職員数の削減や事務事業の見直し等の行政改革が進められております。その中で望ましい議会の姿とは何かを一年かけて追求した結果、議会として自らの身を削りつつも、議会での審議・討議を通じて町民の皆様の意思を行政運営に反映させるための取り組み

の充実を図る必要があると判断いたしました。

その第一歩として、昨年12月の議会において、次期選挙から議会議員定数を2人減の14人とする我々にとっては非常に重い決断を下すとともに、議会での審議について町民の皆様にお伝えし、町の課題についての意見交換を行う場として「議会と語るう会（議会報告会）」を本年より実施することといたしました。

今、日本では、安全保障問題や社会保険と税の一体改革、環太平洋連携協定(TPP)の是非と並んで、原子力発電をめぐるエネルギー政策が国家の未来を左右する重要課題とされております。

原子力発電所の立地する町議会として、国の動きを見据えながら町の未来に向けてしっかりと考え行動する必要があることは言うまでもありませんが、町民の皆様が心豊かで安心して暮らせる町であるために、そして未来を担う子どもたちにとって魅力ある町であり続けるために、行政と時には競い合い、時には協力し合いながら「責任ある議会」を目指して行動してまいります。

結びに、本年も町議会に対し変わらぬご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶いたします。



↑ 昨年11月に開館した生涯学習センターなびあす（郷市・町役場西隣）